

# 瀬音

第15号

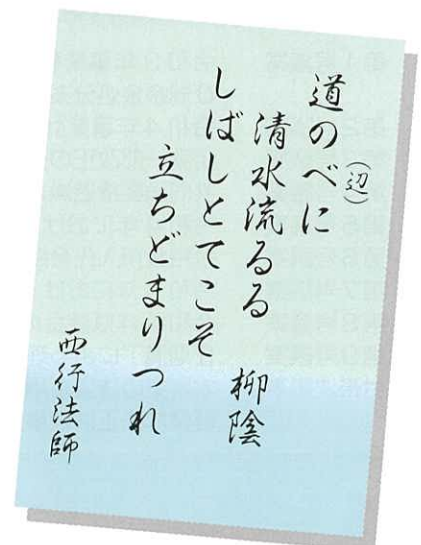
編集・発行／斐伊川漁業協同組合広報委員会／令和4年7月発行／雲南市三刀屋町下熊谷1272番地5／TEL(0854)45-2098



木次こども園 ウナギの放流 5/17

## 目次

歳歳年年人同じからず 代表理事組合長 山根 成二 .....	2
第71回通常総代会（議事・議決事項・報告事項） .....	2
令和4年度事業計画 新役員・支部長及び組合員数 .....	3
斐伊川を訪れた文化人（13）澤村藤十郎 .....	4
斐伊川の今昔 .....	6
斐伊川の恵み 魚料理のレシピ 願永信夫 .....	7
斐伊川で磨く環境研究のカッティング・エッジ 島根大学 吉岡秀和 他 .....	8
一般遊漁券取扱所 組合員募集・つりチケ .....	10
斐伊川漁協管内図 編集後記 .....	11
写真で見る地域活動 .....	12



# 歳歳年年人同じからず

代表理事組合長 山根 成一



昭和から平成の時は、あまり大きくなかった時代の移ろいの感、大きなものがありました。即位された天皇陛下が自分より若い方であるせいでしょか。急速なデジタル社会となっただけでしょうか。あるいは、人口減少の波が肌で感じられるようになったからでしょうか。また、竹下巨先生の御勇退、御逝去により、島根県政界に「竹下」の名前が無くなりました。「一つの時代が終わったな」と感じます。

当組合も、永年漁協を支え、運営していただいた吉井参事として、筒井書記が相次いで御退職になり、新たな体制になりました。

吉井さんには、平成十九年から約十三年間、参事として、筒井さんには、本年三月までの二十四年の長きにわたる組合の業務に携わっていただきました。お二人とも、清廉潔白で、非常に責任感が強く、自分のことより業務を優先される方でありました。お二人の御尽力の下で漁協は維持・発展することができたと言えます。お二人の御実績・御労苦に心から感謝申し上げます。

また、お二人は、飾りなく誰とでも、真正面からしっかりと話をなされ、常に笑顔と明るさをもって人と接しておられたことは称賛に値するものでした。絶妙なコンビでもあり、夫々のお人柄もあって、来訪者が絶えることなく、他の漁協の方からは、「斐伊川漁協はアットホームな雰囲気でも良いですね」との評価も聞きました。こうした漁協への評価は、お二人の御人柄、御努力により培われたものであります。

当組合が行っている鮎の養殖・販売事業は当然の事業と思われていますが、これを維持することは、かなりのパワーと技が必要です。春には、早朝から、土・日曜日もなく、給餌や水管理、夏には、広く出雲部各地への販売事業、そして、完売を目指してのPRRや売り込みなど安堵する暇はありません。永年のお二人のそうした隠れた御労苦にも頭が下がるところです。

また、個人的な印象を申し上げますと、吉井さんは、小仕事を自ら行われるなど器用で経験深い方でしたし、総代会等では、礼儀正しく、ユーモアを交え、発言者の意をくんで、しかも的を外さない答弁は素晴らしいものでした。自分にもそうした態度・能力があればと思つたものです。

筒井さんは、自ら述べられるように長い間のご苦労のもとに鍛えあげられた卓越した事務処理能力をいかんなく発揮されました。また、来訪者には、どんなにお忙しい時でも仕事の手を休め接していただきました。筒井さんとの会話が楽しいと感じるのは、私だけではないと思います。さらには、前述した鮎の養殖の時は汗びっしょりになって働かれるお姿には驚嘆したものでした。

時代はゆっくりですが着実に移ろいます。「歳歳年年人同じからず」。斐伊川漁協にも新しい課題も襲ってきています。役員はもとより、吉井・筒井体制を引き継がれた高野参事・和泉書記の新しい体制により、時代の流れを見据え、それに適切に対応できる斐伊川漁協づくりを邁進していくことが、お二人を始めこれまで漁協を作り上げてこられた先人の御労苦に報いる唯一の方途であるかと思うところです。

## 第71回 通常総代会

### 全提出議案原案通り可決

令和 4 年 3 月 13 日午前 10 時よりチェリヴァホールにて開催しました。

総代会の種類	開催日現在の総代数	出席 総代数		
		本人	書面	合計
通常	94名	21名	70名	91名



### 重要な議事及び議決事項

- 第 1 号議案 令和 3 年事業報告書・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分案承認の件
- 第 2 号議案 令和 4 年事業計画並びに収支計画承認の件
- 第 3 号議案 定款一部改正の件
- 第 4 号議案 共同漁業権遊漁規則変更の件
- 第 5 号議案 令和 4 年における借入金の最高限度額決定の件
- 第 6 号議案 余裕金預入先金融機関の承認の件
- 第 7 号議案 令和 4 年における理事及び監事の報酬決定の件
- 第 8 号議案 令和 4 年賦課金の額・徴収時期及び徴収方法の件
- 第 9 号議案 任期満了による理事及び監事の選任の件
- 付帯決議事項 本議案の決議事項について、行政庁の指示等による軽微な修正は理事会に一任する。

### 報告事項

- ①増殖及び漁業生産力の発展に関する報告  
目標増殖量に基づく増殖事業の他 7 つの計画目標等について、全ての項目が履行されたことを報告。
- ②一般財団法人斐伊川漁業振興会報告  
令和 4 年計画として放流事業は昨年より 20 万円増の約 890 万円、河川清掃の助成は 30 団体、水辺の教室は 18 団体、いずれも助成金の上限が 25 千円で従来通り申請受付順。

# 令和四年度事業計画

## ① 放流事業

魚種	放流量	魚種	放流量
あゆ	700 kg	ふな	50 kg
うなぎ	190 kg	うぐい産卵場	19ヶ所
やまめ	140 kg	こい人工産卵床	3ヶ所
やまめ成魚	310 kg	わかさぎ分離卵	200万粒
もくずがに	30 kg		

今年度は昨年実績を鑑み、稚魚二二〇kg（二万二千尾）とする。良好な育成環境を保持するため、水質並びに病気等に対する衛生管理の徹底を図るとともに、養殖施設・設備等の適切な維持修繕に努め、美味しい「斐伊川養殖あゆ」の安定生産に取り組み。併せてテレビ広告等を活用し販売促進に努める。

## ② 養殖事業

令和三年豪雨の河川災害箇所への復旧工事について、建設業者並びに行政機関と連携協力し、早期に河川環境、良好な漁場の復旧に努める。河川工事による汚濁防止は、事前協議を踏まえながら監視活動や現場踏査により強化に努める。また、一般財団法人斐伊川漁業振興会と連携し河川清掃に協力し環境保全の意識の醸成を図る。

## ③ 漁場管理事業

カワウ、サギの駆除は魚類の増殖保護には重要不可欠な事業であり、継続して、通年実施することが効果を上げることとなるため、本年も有害鳥獣駆除助成金制度（カワウ一羽五千円、サギ一羽一千円）を活用し、併せて組合員の協力のもと花火による一斉駆除や追払いを継続的に実施する。

## ④ 有害鳥獣駆除対策事業

斐伊川の魅力をテーマに広報誌「瀬音」を発刊、ホームページの更新により組合員や遊漁者から寄せられる釣果情報、河川情報等の情報発信に積極的に取り組む。一般財団法人斐伊川漁業振興会が取り組む「水辺の教室」開催に協力し子どもたちに水質保全や生物多様性保全意識の醸成を図る。

## ⑤ 教育啓発広報活動事業

# 新役員紹介

任期：令和4年3月13日～令和7年3月



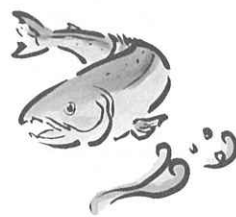
斐伊川漁業協同組合通常総代会



## 組合役員と支部長及び組合員数

(令和4年3月)

支部名	役名	役員氏名	支部名	支部長名	組合員数
三刀屋	代表理事	山根 成二	横 田	小川 直美	67
大 東	第一理事	錦織 滋	八 川	渡部 和敏	61
横 田	第二理事	伊藤 收	馬 木	吉川 光則	42
温 泉	第三理事	亀山 真二	亀 嵩	内田 裕介	32
掛 合	理 事	落部 照治	布 勢	千原 佐介	22
三 成	理 事	中林 敏夫	三 成	木山 厚夫	47
鍋 山	理 事	富田 真樹	阿 井	立石 好次	53
阿 井	理 事	山根 義人	三 沢	内田 幸伸	24
加 茂	代表監事	高橋 修治	温 泉	西村 謙一	33
馬 木	監 事	石金 一記	日 登	瀬尾 正明	34
			木 次	早島 三雄	49
			大 東	野々村一己	82
			加 茂	小林 由和 (6月より)	42
			三刀屋	松尾 静治	53
			鍋 山	名原 英夫	59
			多 根	大田 稔	17
			掛 合	竹下 文夫	54
			吉 田	高橋 守	11
			田 井	松島 貞夫	23



# 斐伊川と訪れた文化人 (13)

## 「出雲阿国歌舞伎と 三麺紀行」

歌舞伎俳優 澤村 藤十郎

河角 守雄

金刀比羅宮前町にある金丸座は天保六年(一八三五)年に建てられた日本最古の芝居小屋であった。しかし、荒廃が進み保存運動の甲斐あって、昭和四十五年重要文化財に指定される。さらに四年の年月をかけて移築復元された。

この金丸座に着目したあるテレビ番組によって、金毘羅大芝居は大きな展開を迎える。そのテレビ番組は皆さんも記憶にあるかも知れないが、「素晴らしき仲間」中

それは金毘羅大芝居から始まった。「金丸座」から

いのは竹下内閣であったことだろう。さらに検証してみるとあった。出雲阿国歌舞伎で今回はこれを取り上げてみる。



出雲阿国歌舞伎'89大練り  
「広報たいしゃ(平成元年6月号)より転載」

昭和から平成、そして令和の時代へと筆者も三代の御代を過ごすこととなった。

平成から令和の代替わりはくしくもコロナ禍に見舞われ、後世に語り継がれる代替わりとなっている。

今、昭和から平成への御代替わりを振り返ってみると、この地で大きい

昭和から平成、そして令和の時代へと筆者も三代の御代を過ごすこととなった。

平成から令和の代替わりはくしくもコロナ禍に見舞われ、後世に語り継がれる代替わりとなっている。

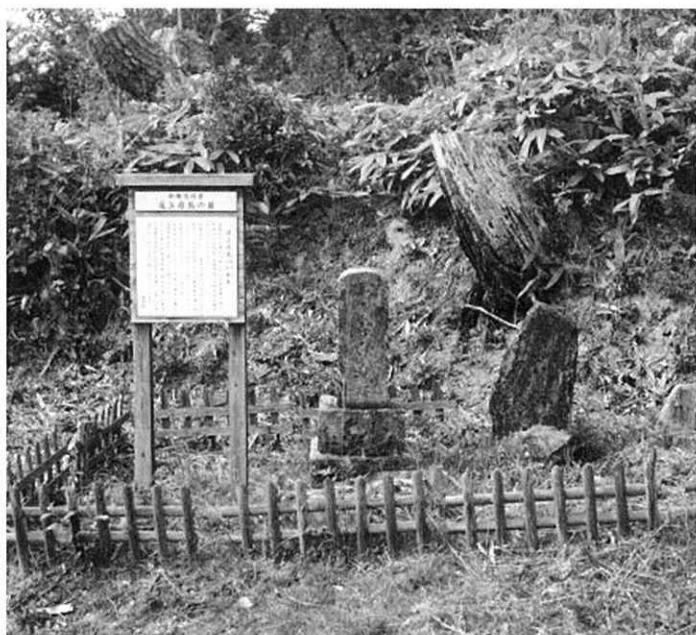
今、昭和から平成への御代替わりを振り返ってみると、この地で大きい

この成功は多くの分野から注目されることとなる。とりわけ島根の地から多くの目が注がれることになる。

この時代は竹下内閣の前の中曽根内閣時代、俗にいう中曽根行革時代で、国鉄改革を始め多くの改革を實行し、長期政権となった。そして、新たな息吹を求める時代であった。大分の一村一品運動から始まった地域おこしのうねりはこの島根でも無縁ではなく讃岐の地に熱い視線を送っていた。

村吉右衛門、澤村藤十郎、中村勘三郎で全国放映された。この三人は旧金毘羅大芝居に魅了され、三十五年ぶりの「こんぴら歌舞伎」復活に結び付く。

ここから自治体の挑戦が始まる。松竹株式会社との全面的な支援の下に、「文化財での歌舞伎公演」をはじめとする大きな障壁を乗り越えて、「第一回四国こんぴら歌舞伎大芝居」が復活する。



尾上扇鳥の墓石

# 阿国とたたらと出雲大社 そして中村屋の縁

出雲の阿国は歌舞伎の祖であり、多くの参拝客を集める出雲大社と歌舞伎とは深い関係で決して見過ごすことはなかった。

ここで白羽の矢が刺さったのは、澤村藤十郎。こんぴら歌舞伎の経験と地方巡業への意欲で彼は幾度となく、大社を含む出雲の地を訪れることとなる。人選は島根からなのか、松竹の意向なのか今はわからない。

くしくも阿国の出身地は出雲杵築中村の里（現在の中村町）で名前でも中村屋の縁の深さを感じる。この斐伊川上流は多くの歌舞伎の痕跡を残している。「有吉佐和子」で述べたように菅谷たたらの高殿は「天」「座」「花道」「柿」など歌舞伎と無縁ではない痕跡を残しており、杉村春子氏も訪れている。

さらに今回紹介するのは、吉田グリーンシャワーの森の森林浴センターの下にひっそりとたたずむ尾上扇鳥の墓である。扇鳥は田部家と菅谷たたらを結ぶこの菅谷街道の地で嘉永年間没した。



出雲名物番付（松江市蔵）

町人文化やたたら最盛期は文化文政時代と言われ、それから二十〜三十年を経過したのが嘉永年間で黒船来航や葛飾北斎の時代である。これらの情報はすべて澤村藤十郎氏に持ち込まれた。

これらの努力が実を結ぶのは平成の御代替わりの時である。出雲阿国歌舞伎が行われるのは平成元年から現在に至る。

（現在はあくまで休業中）澤村藤十郎氏は十回までの間、九回を除く毎年興行に参加し、出雲大社に阿国踊りを奉納している。

## 讃岐うどん 出雲そば 三輪そうめんの三廻紀行

平成の阿国歌舞伎興行はもう一つの文化にスポットを当てた。

それが三廻紀行。歌舞伎に関連する三つの市町村 琴平 讃岐うどん 大社 出雲そば 奈良桜井 三輪そうめん



三廻

で歌舞伎と合わせてこの廻を楽しんでもらおうと始まった。詳細は出雲市のホームページをご覧ください。

奈良桜井は言わずと知れた飛鳥の地で、日本芸能発祥の地と言われ、日本初の国立劇場・土舞台のある土地である。

このの主役は聖徳太子。推古天皇の時代、摂政の聖徳太子が少年を集めて伎楽を始めたのが、芸能の原点といわれている。

ここに出雲そばに関する興味ある資料が存在する。安政五年（一八五八）の出雲名物である。ここで表記されているのは安田蕎麦と民谷蕎麦。

まず目が行く大関を最初に見てみよう。十六島海苔と松江鱸。松江鱸は初めて出てくる言葉。今までは出雲鯛又は出雲鉦という表現が使われている。これは田部家が松江に問屋を設置し、鉦製品の出荷港が鷺浦から安来又は松江に替わったことを意味する。

斐伊川が最も大きな役割を果たすのはこの時代で、現在の雲南市三刀屋町の粟谷港や出雲町三成の三成港は鉄の出荷港としてまた川運の歴史に名をとどめている。筆者が住まいする深野も矢入鍛冶屋の出荷のために明治まで舟の往来があった。

「宇山民谷この世の地獄」の言葉は吉田飯石で語りつがれてきた言葉である。果たしていつからであったろうか。

民谷は松江藩と広瀬藩が入り組む土地で米本位制の当時にあって、寒さの厳しい当時の品種より、松平直政松江入府に際し、持ち込まれた蕎麦によって、蕎麦への試行と変換が容易であったと考えられる。

斐伊川は上流の多くの恵みを下流に届けていることがわかる。他に吉田香茸、八川自然薯、猿政山葵、八川ワラビ、三刀屋豆腐などの文字が見受けられる。特筆は赤川のうぐいであり、当時から食されていたことがわかる。

全てが人力の時代の江戸期、全国の生産の八割を占めたといわれる鉄の生産は、斐伊川の川運なしではありえなかった。そして、同時に全国各地の文化を興出雲の地に運び入れている。

# 斐伊川の今昔

第十三号から掲載を始めた本シリーズにとって心強い資料の存在がありました。それは、木次町の「八日市地域づくり

の会」が平成二十八年に刊行された「斐伊川の漁具・漁法」です。

「斐伊川の自然と歴史」「斐伊川の漁具と漁法」「アユの漁場」「斐伊川の魚料理」の四章で構成されたこの解説書は、漁協の関係の方々は勿論のこと、当地方の一般の方々にとっても斐伊川を理解するための格好の書籍と言えますよ。

「八日市地域づくりの会」及び編集・執筆をされた関係の方々のご理解とご快諾のもと、抜粋し転載させていただくことにしました。

部分的に省略をしながら転載を行ないますので、三〇四年の間の連載になります。



木次町ふるさと歴史シリーズ1  
「斐伊川の漁具・漁法」

## 第一章「斐伊川の自然と歴史」

### (1) 斐伊川の自然

斐伊川はその源を、仁多郡奥出雲町(横田町)の船通山(標高一、四三メートル)に発します。途中、大馬木川、阿井川、久野川、三刀屋川、赤川などの多くの支川を合わせながら北に流れ、山間部を抜けて下流に広がる出雲平野を東に、宍道湖、大橋川、中海、境水道を経て日本海に注ぐ、幹川流路延長一五三km、流域面積二、〇七〇kmの一級河川です。

現在、斐伊川は宍道湖を経て日本海へ注ぎますが、元々は出雲平野で西に流れ、神門水海(現在の神西湖)を経て日本海に注いで

いました。洪水などを契機とし、京極、松平氏の治水事業により、一六三〇年代に現在のような流路が固定したとされます。――中略――

### (2) 斐伊川の歴史

斐伊川は、奈良時代に編纂された『古事記』や『日本書紀』『出雲国風土記』にも登場します。天平五年(西暦七三三年)に完成した『出雲国風土記』によれば、仁多郡条では「斐伊河」、大原郡条では「斐伊川」「出雲大川」「斐伊大河」、飯石郡条では「斐伊河」、出雲郡条では「出雲大川」「斐伊河」と記されています。「出雲大川」の名称が示すように、出雲国を代表する川と認識されていました。

『修訂出雲国風土記参究』の部分は略

『修訂出雲国風土記参究』を読むと、斐伊川は、伯耆・出雲国境にある鳥上山(現在の船通山)から流れ出て、仁多横田・三処・三沢・布勢郷、大原郷来次・斐伊・屋内・神原郷、出雲郡河内・出雲郷を経て北に流れ、西に折れて、伊努・杵築郷を経て神門水海に入

るといふ流路がまず記されています。川の両岸は土地が肥沃で作物が豊かで、川には食用になったアユ・サケ・マス・ウグイ・ウナギなどがいて、淵や瀬を泳いでいたようです。百姓たちは川のおかげを受けて暮らしていると、春季にはこの川で流す材木を検閲する船が川を上下していると記されています。

(以下次号)

「斐伊川の漁具・漁法」の編集、執筆、発刊に当たられた「八日市地域づくりの会(発刊当時)会長金山寿忠様、故松本保則様、松本進様、稲田 信様をはじめ関係の皆様」に感謝申し上げます。



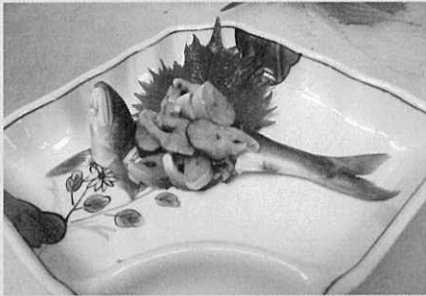
網の修理をする往年の松本保則さん

# 斐伊川の恵み

## 様々な魚種とその味わい方

### その② 「若鮎を味わう」

掛合町 願 永 信 夫



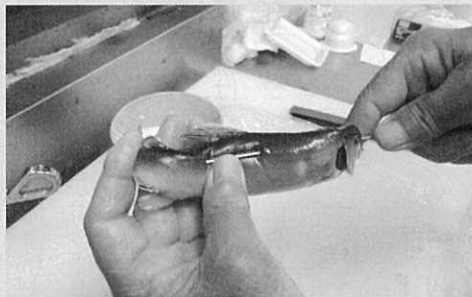
キッチンペーパーで水を切り、青じその葉を広げた皿に盛ります。胸びれを開いて頭を口を上にして立て、尾びれを添えます。

こよなく川を愛し、子どもの頃から遊び、魚取りが好きで、今でも魚を追い求めています。今回も夏の漁の主役「鮎」を取り上げます。

概ね体長二十センチまでの若鮎の料理としては、①背ごし ②塩焼き ③天ぷら ④南蛮漬け ⑤甘露煮 などがあります。中でも活きのよい鮎の背ごしは逸品です。

【その一 背ごしの作り方】

鱗を軽くそぎ、胸びれと尾びれを残してひれを切り落とし軽く水洗いを行います。約一センチ幅で背骨も一緒に刻みまします。(いわゆるズドン切り) この時、胸びれの付いた頭と尾びれは盛り付けの時に使うので取っておきます。滅菌のために酢水で洗い、水ですすぎます。



背びれと尾びれには焦げないように多めの塩を付け、それ以外の体の表面やひれには軽く塩を付けます。

炭で焼くのが普通です。その際に注意する点は炭の熾り具合です。炭が炎を出

背びれの下の部分は串を外に出し、再び中へ差し込みます。反対側には串を出さずに、尾の部分曲げるように貫いていき手前側に出します。

タデ酢、ユズ味噌、梅肉、わさびなど好みに合ったつけ汁でいただきます。鮮度がよければ内臓も一緒に味わえます。

【その二 塩焼き】

屋外での豪快な塩焼きは一般的な鮎料理の一つでしょう。ここでは皿に盛りつける塩焼きを紹介します。

屋外で焼く場合は、竹串を口から入れていきますが、金串の場合は眼の脇から入れ、内臓を貫かないように背骨の近くを刺していきます。



を折りたたみ、発砲スチロール皿などに数匹位を入れてラップで包みます。鮎の周りに氷の塊(氷やけ)ができないようにすることが肝心です。

【その三 来年までその味で】

冷凍保存をすると味が落ちるようになってしまうのですが、少しの手間で獲りたてと同じほどの鮎を翌年、あるいは正月に味わえます。

① 保存用の袋

スーパーなどで売られているキッチン用品の中に、鮎を入れるのに適した(細長い袋)の保存袋があります。

② 水が無いようにして袋入れ

洗った鮎を保存袋に入れて水を入れ、逆さにして水を絞り出します。(このひと手間が大事です) 水が流れ出ることで袋の中が真空状態になります。袋の口

# 斐伊川で磨く環境研究の カッティング・エッジ

## はじめに

私どもが斐伊川で研究に着手し、七年半が経ちました。今回は二〇二二年春の最新の研究成果を報告いたします。本稿により、多様な分野の協働による融合研究

島根大学 岩手大学 京都大学 同志社大学	吉濱田辻	岡上中村	秀邦智元	和彦大男	島根大学 島根大学 東京工業大学	吉橋友	岡口部	有由未 亜由遼
-------------------------------	------	------	------	------	------------------------	-----	-----	------------

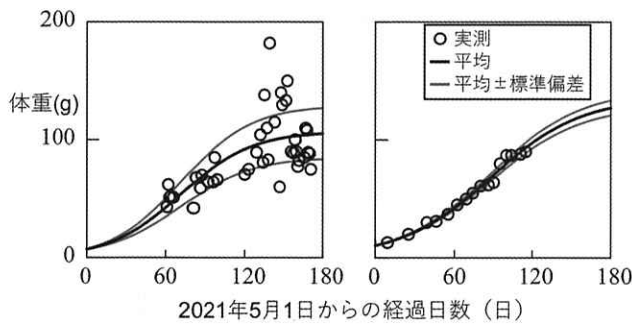


図 1: 2021 年における斐伊川 (左) と漁協養殖水槽 B (右) におけるアユ成長の解析結果。

## アユの成長

の先端を垣間見て頂ければ幸いです。  
組合員の方々のご尽力により二〇一五年から、夏から秋にかけての斐伊川におけるアユの体重データや、斐伊川漁協における養殖アユの体重データを蓄積し続けています。こうした貴重なデータ、蓄積は他に類を見ません。データ、

## 河川流況

水産学、確率解析を融合した成長理論により、河川と養殖水槽におけるアユの成長の質的な差異が見えてきました。ざっくりいえば、河川のアユは良くも悪くも体重の個体差が大きく、養殖水槽のアユはより体重がそろっています (図一)。河川と養殖水槽という流況の乱れが全く対照的な環境が導いた結果だと考えており、より詳細な解析を進めています。

斐伊川の流況を分析しています。図二上は、二〇二二年について湯村温泉付近に設置の水位水温計 (HOBO・U-20) の実測 (機器が河岸近くに設置されているため高度補正済み) とシミュレーションで水深を比較した結果です。計算結果は日々の変化と大きな出水を再現しています。昨年度とは異なる地点・異なる期間でシミュレーションが妥当であることが検証され、今後の水位予測に役

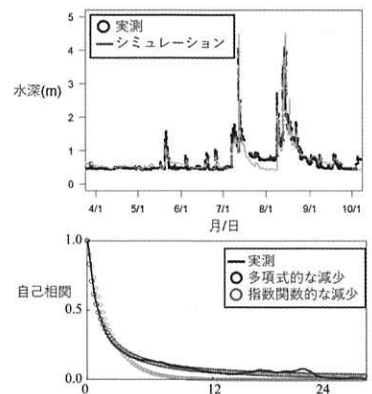


図 2: 湯村温泉でのシミュレーション結果 (上) と自己相関関数の計算結果 (下)。自己相関がより大きい経過時間ほど、後の時間の流況により大きい影響を与える。

立つことが期待されます。  
シミュレーション結果から、「流況の記憶」も数学的に考究しています。ここで「記憶」とは、ある時刻の流量がどれくらい昔の流量にどれだけ影響されているかを意味し、日々の流況と出水の双方の理解を深めるために不可欠です。これは、自己相関関数 (今の流量と昔の流量の相関) という指標で評価します。多くの理論は流量の自己相関関数が指数関数的に減少する (素早く記憶が消える) としていますが、湯村地点では多



項式的に減少（＝より遅くしか記憶が消えない）しています（図二下）。すなわち、河川の流況は永く過去を憶えているといえます。この結果は、「無限次元確率微分方程式」という、流況データを無限個の微細要素に分割する思い切った理論に基づいています。

**藻類剥離と土砂還元**

土砂還元による、ダム下流、最近では上流でも繁茂する緑色の糸状藻類の剥離効果を評価する実験を進めています。多くの理論は平坦な河床を考えていますが、そんな河床はありません。そこで、岩手大学で半球状の礫模型を敷き詰めた実験水路を開発し、様々な流量・礫模型の大きさ・流砂量について、藻類剥離を観測しています。その結果、礫間に流砂が堆砂する領域と上部を通過する流砂の領域が発生し、互いに大きく異なる剥離過程を導くことを発見しました。剥離は礫全体で均等に生じず、

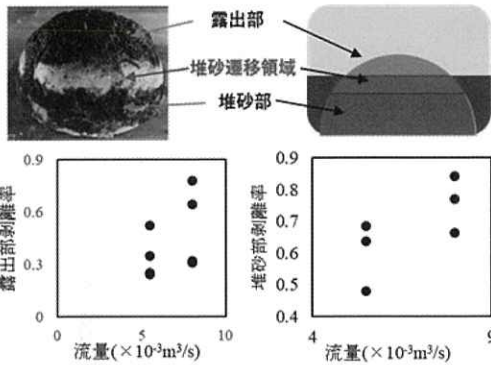


図3：流量と剥離率の関係

どちらの領域でも流量と剥離率の関係に正の相関が見られます。とくに剥離に大きく寄与するのは、堆砂部と露出部の境界にあたる堆砂運移領域のようです（図三）

土砂還元そのものの研究も進めています。河川に入れた土塊はどう流亡するのか、どの頻度や量の還元を行うべきか、土砂はどこから確保するのか、コストやマンパワーは、という多様な問題があります。こうした問いに対し、経済学と数学を融合した研究に取り組んでいます。最近わかった興味深い

いことは、他研究が実験的に示した土塊の流亡の様子を再現するためには、係数が「爆発」する特殊な（＝教科書的でない）微分方程式が有効だということです。このモデルからは、小さな土塊ほど投入してからすぐに流亡することが導かれますが、これがまさに上述した実験研究の成果と整合しています。

**水質分析**

尾原ダム上・下流について水質分析を行っています。分析項目のひとつであるネオニコチノイド系農薬は平成初期から全国で広く用いられており、河川によっては数百ppbもの濃度で検出されます。本研究で検出した濃度は〇〜五ppb程度と低いため、ネオニコチノイド系農薬による斐伊川の環境汚染は深刻ではなく、河川水による希釈効果が十分に働いていると考えています。

**おわりに**

融合研究は聞こえ良い言葉ですが、実情は困難の連続です。様々な学問分野を上手く融合することで、斐伊川という固有地域の研究成果を国際的にも発信し、他研究では到達不能な境地を進みたいと思います。今後ともお力添えのほどよろしくお願ひします。

**謝辞**

本研究は、文部科学省科研費（22K14441、22H02456）、クリタ水・環境科学振興財団国内研究助成（20K004、21K018）、住友財団環境研究助成（203160）、ヤンマー資源循環支援機構助成事業（K10212021）の援助を受けました。

## 令和 4 年 一 般 遊 漁 券 取 扱 所

住 所	取 扱 所	電 話	住 所	取 扱 所	電 話
仁多郡奥出雲町 竹崎 1843-2	ヴィラ船通山 斐乃上荘	0854-52-0234	雲南市吉田町 民谷 456	民谷交流センター	0854-74-0530
仁多郡奥出雲町 三成 558-6	奥出雲サイクリング ターミナル	0854-54-2100	出雲市渡橋町 1033-1	ポイント 出雲店	0853-23-9481
仁多郡奥出雲町 下阿井 175-9	奥出雲運送	0854-56-0027	出雲市渡橋町 1085-1	かめや釣具 出雲店	0853-20-1191
仁多郡奥出雲町 上阿井 1639	渡部商店	0854-56-0052	出雲市西平田町 108-2	小村漁具店	0853-62-2214
仁多郡奥出雲町 郡 304-1	村田勝仁	0854-57-0782	松江市学園南 2-1-8	かめや釣具 松江店	0852-24-1191
仁多郡奥出雲町 亀嵩 288-1	横路孝政	080-3870-3742	松江市学園南 2-1-3	天狗堂	0852-23-0775
雲南市木次町 平田 70	亀山幹生	0854-48-0001	松江市北田町 215	山陰釣具センター	0852-26-2623
雲南市木次町 平田 806-5	橋本屋商店	0854-48-0008	松江市東朝日町 73-5	ポイント 松江店	0852-60-1161
雲南市木次町 新市 87	フライ フィッシング M	090-1681-8074	松江市浜乃木 6-33-36	Fisherman's Shop RUSH	0852-61-8518
雲南市大東町 大東 2402-1	ECO・ カーステーション K	0854-43-6773	広島県庄原市 新庄町 368-1	フィッシング ショップ ぬまた	0824-72-1767
雲南市三刀屋町 三刀屋 376-6	松尾理容店	0854-45-3179	広島県福山市 山北 343-1	ツリゲヤ 瀬戸店	084-999-0482
雲南市掛合町 掛合 2223-2	願永信夫	0854-62-0455	広島県三次市 南畑敷町 65-1	かめや釣具 三次店	0824-65-1091
雲南市吉田町 深野 339-8	ヤマサキショップ すまいる店	0854-75-0666			

遊漁券は漁協事務所か上記取扱所で購入し、よく目につくところに提示して入漁ください。なお、監視員が遊漁券を現場で発行する場合は 500 円増しとなります。

監視員が遊漁券の提示等を求めることがありましたら、指示に従って下さい。

### 組 合 員 募 集

各支部独自の活動の他に本部では、投網大会・ゴルフ大会・水辺の交流行事など、様々な活動を行っています。

一緒に楽しい活動を行って交流を深めませんか。



出資金 1 万円  
(入会時のみ)  
年会費 6,000 円  
ご入会お待ちしております。

<http://www.hiikawafish.jp>

斐伊川漁協

検索



### 斐伊川漁協からのお知らせ

## 電子遊漁券に対応しました！

\*この河川で釣りをするには遊漁券が必要です。遊漁券収入は、釣り場環境を守る活動に使われています。

便利な釣果・釣場・周辺情報も



つりチケなら、いつでも  
どこからでも遊漁券が買える！



スマホ・PC から簡単購入

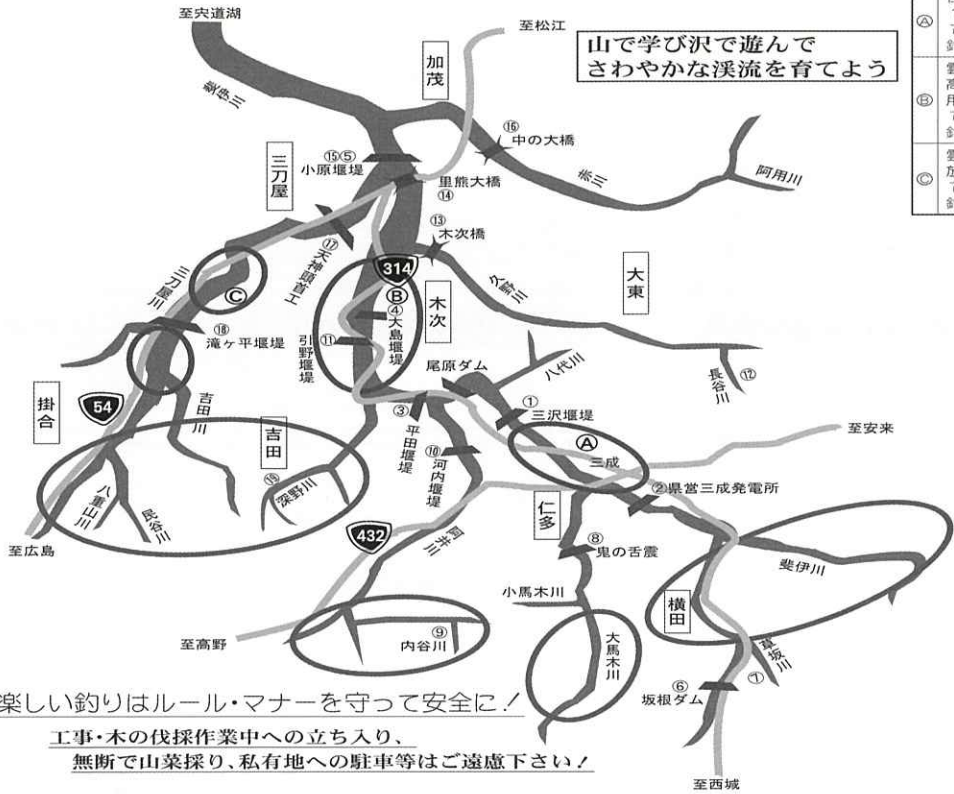


QRコード読み取り もしくは  
つりチケ で検索してアクセス

公式サイト：<https://www.tsuritickets.com/>

# 斐伊川漁業協同組合

山で学び沢で遊んで  
さわやかな溪流を育てよう



あゆ友釣専用区	
⑥	仁多郡奥出雲町三成 三成大橋から上流 1600m (県営三成発電所放水口まで) 7月1日正午より7月31日までの間釣りを除く全漁法禁止
⑭	雲南市木次町西日登 国道314号 高瀬大橋から上流400m (大島地内用水堰下流90mまで) 7月1日正午より8月31日までの間釣りを除く全漁法禁止
⑮	雲南市三刀屋町粟谷 三刀屋川発電所放水口より下流400m 7月1日正午より8月31日までの間釣りを除く全漁法禁止

### あゆ釣りスポット

三 成	… 斐伊川 (佐々木橋上流)
温 泉	… 斐伊川 (猿渡橋上流)
日 登	… 斐伊川 (大島・吉井)
三刀屋	… 三刀屋川 (成木)
三刀屋	… 三刀屋川 (粟谷)
三刀屋	… 三刀屋川 (三刀屋金属)
掛 合	… 三刀屋川 (松尾橋上流)
掛 合	… 三刀屋川 (掛合中学裏)

### 溪流釣りスポット

竹 崎	… 斐伊川上流
馬 木	… 大馬木川
上阿井	… 内谷川
八 川	… 室原川
掛 合	… 三刀屋川
吉 田	… 民谷川

楽しい釣りはルール・マナーを守って安全に！  
 工事・木の伐採作業中への立ち入り、  
 無断で山菜採り、私有地への駐車等のご遠慮下さい！

禁 漁 区	
①	仁多郡奥出雲町三沢中国電力 KK 設置三沢堰堤 上流 180m、下流 180m 全漁法禁止
②	仁多郡奥出雲町横田県営三成発電所堰堤 上流 200m 全漁法禁止
③	雲南市木次町平田中国電力設置平田堰堤 上流 100m、下流 100m 全漁法禁止
④	雲南市木次町西日登大島地内用水堰 上流 90m、下流 90m 全漁法禁止 雲南市木次町里方地内小原床止堰堤 上流 100m 下流 100m 全漁法禁止 但し 4月1日より7月31日まで

自 主 禁 漁 区			
⑥	仁多郡奥出雲町八川地内坂根ダムを含む上流 全漁法禁止	⑬	雲南市木次町木次 久野川木次橋から上流 500m (小学校裏) 全漁法禁止
⑦	仁多郡奥出雲町八川小八川地内草坂川草坂橋より上流 全漁法禁止	⑭	雲南市木次町里方地内斐伊川里熊大橋より上流 300m までの区間、あゆ漁のみ全漁法禁止 但し 10月1日より10月31日まで
⑧	仁多郡奥出雲町三成宇根鬼の舌震区域刺網禁止 但し 8月1日より翌年 5月31日まで	⑮	雲南市木次町里方地内斐伊川小原床止堰堤上流 100m、下流 300m あゆ漁のみ全漁法禁止 但し 10月1日より10月31日まで
⑨	仁多郡奥出雲町上阿井内谷川内内谷橋より上流 全漁法禁止	⑯	雲南市加茂町加茂中赤川中の大橋 (旭町裏) 上流 50m、下流 50m 全漁法禁止
⑩	仁多郡奥出雲町河内中国電力 KK 北原発電所 阿井川調整堰堤より 200m 全漁法禁止 禁止区域より上流八原橋 1号橋まで釣のみ認める 常高寺前より上流八原橋 1号橋あゆ漁に限り投網は認める	⑰	雲南市三刀屋町三刀屋 三刀屋川天神頭首工より坂山橋 上流 50m 網・釣禁止 但し、あゆ漁は認める
⑪	雲南市木次町西日登引野堰堤魚道及び登り口 半径 5m 全漁法禁止	⑱	雲南市掛合町多根中国電力 KK 設置滝ヶ平堰堤 上流 18m、下流 35m 全漁法禁止
⑫	雲南市大東町上久野桃源郷上長谷川上流頭首工より上 全漁法禁止	⑲	雲南市吉田町芦谷芦谷川清水橋より上流 全漁法禁止

## 編 集 後 記

本号の発行にあたって、ご多用の中ご寄稿や資料等のご提供をいただきました方々に厚くお礼申し上げます。コロナ禍の影響で人々が集う催しが中止になる状況が続いています。来年の本紙には、投網大会やゴルフ大会の様子が載せられますように願っています。

### 「瀬音」編集委員会

- 委員長 富田 真樹
- 委員 高野 耕治
- 委員 和泉 尚美

令和四年七月

## 新人職員紹介



和泉尚美

四月から着任しました和泉尚美です。川の勉強中ですので、事務所にいらした際には色々教えていただけると喜びます。よろしくお祈いします。

# 写真で見る地域活動



鍋山小 水辺の教室 4/25



斐伊川魚守会 ウグイの産卵床作り 3/27



木次小 水辺の教室 5/11



三刀屋 さくらウグイ採捕 4/18



阿井保育所 やまめ稚魚放流 6/17



坂本南側自治会 河川清掃 6/12